

科 目	国際コミュニケーション(中国語) (Chinese for International Communication)			
担当教員	牛根 靖裕 非常勤講師			
対象学年等	応用化学科・4年・通年・選択・2単位【講義】(学修単位I)			
学習・教育目標	D2(100%)			
授業の概要と方針	現代中国語(標準語)の発音と基礎的文法を、発音・読解・作文の演習を通じて学習する。受講者の教授内容に対する理解をはかる評価対象として、中間・定期試験に加え、随時課す課外の課題を含む演習での取り組みも重視する。			
	到達目標	達成度		到達目標別の評価方法と基準
1	【D2】現代中国語の発音とそのピンインによる表記法を習得する。			現代中国語の発音とそのピンインによる表記法を講義中の演習(発音練習)によって評価する。
2	【D2】現代中国語の漢字(簡体字)の中でも、比較的使用頻度の高いものの書き方を習得する。			現代中国語の漢字(簡体字)の書き方を演習(短文読解・作文・小テスト・課題)によって評価する。
3	【D2】現代中国語の簡単な文法知識を習得する。			現代中国語の簡単な文法知識を演習(短文読解・作文・小テスト・課題・口頭発表)および中間試験、定期試験によって評価する。
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
総合評価	成績は、試験60% 演習(発音、読解、作文、小テスト、課題、口頭発表)40% として評価する。試験成績は中間試験、定期試験の平均点。演習では授業内での暗誦および小テストも課す(複数回)。コミュニケーション能力の養成を重視するため、試験以外の評価を40%とする。試験・演習の評価を総合し、100点満点60点以上を合格とする。			
テキスト	おもてなし中国語教材開発研究チーム[著]『初級中国語でおもてなし 改訂版』(金星堂, 2024年)			
参考書	相原茂[編著]『新装版 はじめての中国語学習辞典』(朝日出版社, 2021年) 相原茂・石田知子・戸沼市子[著]『Why?にこたえるはじめての中国語の文法書』(同学社, 2016年再版) 相原茂・喜多山幸子・魯曉琨[著]『大事なことはみんなやさしい中国語で言える』(朝日出版社, 2001年)			
関連科目	ドイツ語, 韓国語			
履修上の注意事項	現代中国語の学習を通じ、中国の文化・社会に対する関心を深める。受講者には講義の予習・演習・復習への自主的な取り組みが求められる。辞書を購入する場合は、講師からは『新装版 はじめての中国語学習辞典』(相原茂[編著], 朝日出版社, 2021年)を推薦する。			

授業計画(国際コミュニケーション(中国語))		
	テーマ	内容(目標・準備など)
1	講義概要の説明,発音練習(1)	本講義の方針・目標・内容・評価方法の説明,および同説明に関する質疑応答などの後,中国語の声調・母音(単母音,複母音,n/ngを伴う母音),発音記号(ピンイン)の表記法を学習する。
2	発音練習(2)	中国語の複母音,子音の発声法,表記法を学習する.現代中国(中華人民共和国)で公用文字とされている簡略字「簡体字」についても触れる。
3	発音練習(3)	中国語の子音,鼻母音の発声法,声調変化,r化音を学習する.また発音練習のおさらいを行なう。
4	第1課 人称代名詞,動詞“是”,疑問文(1)“……吗”,疑問文(2)-疑問詞疑問文	中国語で常用する人称代名詞,動詞“是”を用いた基本構文を学習する.語気助詞“吗”を用いた当否疑問文,「什么」(何)・「谁」(誰)を用いた疑問詞疑問文を学習する。
5	第1課 短文講読,発展練習問題	基本構文を用いた短文の読み解きを行ない,練習問題に取り組む。
6	第2課 指示代名詞,動詞述語文,疑問文(3)“……呢”,副詞“也/不/都”	現代中国語で用いる指示代名詞,動作動詞の基本構文を学ぶ.また語気助詞“……呢”を用いた省略疑問文,常用する副詞の用法についても学習する。
7	第2課 短文講読,発展練習問題	副詞や動詞を用いた基本構文を用いた短文の読み解きを行ない,練習問題に取り組む。
8	中間試験	第1週から第7週までの内容について試験を行う。
9	中間試験の解答とまとめ第3課 助動詞“想”,助詞“吧”(1)	中間試験の内容について解説する.中国語短文暗誦課題の説明.課題用短文は受講者の要望を汲んだ上で告知する.中国語における助動詞の語法,提案・軽い命令を表わす語気助詞“吧”の用法を学ぶ。
10	第3課 連動文(1),時点表現,短文講読,発展練習問題	動詞句を並べる連動文,現代中国語での時を表わすさまざまな語句・表現のを学ぶ.また短文を講読し,練習問題に取り組む。
11	第4課 構造助詞“的”(1),疑問文(4)-選択疑問文,形容詞述語文,名詞述語文(1)	連体修飾の語句(定語)を導く構造助詞“的”,選択肢からの選択を求める疑問文,形容詞を用いた表現,日付・天候・身長・体重などを表現するときに用いられる名詞述語文について学ぶ。
12	第4課 短文講読,発展練習問題	家族構成を述べる短文を読み解き,練習問題に取り組む。
13	第5課 名詞述語文(2),比較文,常用量詞	月日・曜日・時間・年齢・値段など数を述べる名詞述語文,形容詞の程度を述べる比較表現,名詞の数量表現に用いる量詞を学ぶ。
14	第5課 短文講読,発展練習問題 文法のまとめ	年齢などを述べる短文を読み解き,練習問題に取り組む.前期に扱った現代中国語の基本語法について,復習・確認を行う。
15	総合復習	中間試験以降の講義での学習内容について,復習・確認を行う。
16	前期学習内容の復習	動詞述語構文,助動詞など前期学習内容について,復習・確認を行う。
17	第6課 介詞(1),時点と時量,連動文(2),存在動詞“在”	動詞の行為に関わる場所・対象などを導く介詞,動詞の発生する時間(時点)や動作の持続時間(時量),動作行為の方法や手段を示す連動文,存在の所在を表わす動詞“在”の用法を学ぶ。
18	第6課 短文講読,発展練習問題	物事の所在を表現する短文を読み解き,練習問題に取り組む。
19	第7課 介詞(2),存現文(1),助動詞“会/能”,方位詞	動作の場所を示す介詞“在”,存在動詞“有”と“在”をもちいた存現文,可能的助動詞“会”と“能”の用法,位置を表わす中国語の方位詞を学ぶ。
20	第7課 短文講読,発展練習問題	存在を述べる短文を読み解き,練習問題に取り組む。
21	第8課 動作の進行表現,構造助詞“的”(2),完了表現	動作の進行を表現する“在/正在/正……(呢)”,動詞句を連体修飾句化する構造助詞“的”の用法,動作の完了を表わす動態助詞“了”,状況の変化の完了・発生を表わす語気助詞“了”を学ぶ。
22	復習	第8課短文を読み解き,練習問題に取り組む.第17回講義以降の学習内容について復習する。
23	中間試験	第17回から第22回までの講義での学習内容の習得状況を,筆記試験により確認する。
24	中間試験の解説第9課 状態の持続表現	中間試験の問題,解答の確認を行い,内容について解説する.状態の持続を表わす動態助詞“着”を学ぶ。
25	第9課 助詞“吧”(2),主述述語文,短文講読,発展練習問題	推量・確認を表わす語句助詞“吧”,述語部が主語+述語となっている主述述語文を学び,短文を読み解き,練習問題に取り組む。
26	第10課 方向補語,数量補語,“是……的”構文	人や物の移動の方向を表わす方向補語,動作の持続時間や回数を表わす数量補語,場所・時間・方式などを取り立てて述べる“是……的”構文を学ぶ。
27	第10課 短文講読,発展練習問題	短文を読み解き,練習問題に取り組む。
28	第11課 結果補語,経験表現,可能補語	動作・行為の結果を具体的に述べる結果補語,動作・行為の経験を述べる“过(過)”の用法,結果補語と方向補語の可能表現である可能補語を学ぶ。
29	第12課 二重目的語,使役表現,様態補語	目的語を2種取って物事の授与・取得を表わす動詞の二重目的語表現,動詞“让(讓)”を用いた使役表現,動作およびその結果に対する評価や主体・対象の状態を述べる様態補語を学ぶ。
30	総合復習	中間試験以降の文法,語法について,復習・確認を行う。
備考	前期,後期ともに中間試験および定期試験を実施する。	